

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容
国語	関心意欲が高く、積極的に授業に参加しているが、学習内容を深め、理解しようとする姿勢に課題がある。	国語における分野毎の学習方法の指導 補: 予習、復習の方法を詳しく説明する。 発: 小テストや、教材を活用して学習を行う。
社会	社会的事象について多面的・多角的に思考できる。既習事項についての知識も定着している。 社会的事象を理解するために適切な資料を活用する能力について課題がある。	資料選択・活用を意識した授業の工夫 補: 資料の選択、読み取り方を具体的に指導する。 発: レポート作成時に資料選択、活用の発展的な指導をする。
数学	授業に前向きに取り組んでいる生徒が多い。 基本的な知識や計算技能の習得が不十分な生徒がいる。	反復練習で知識・技能の向上 補: 宿題や小テストなどを繰り返し実施して知識や技能を向上させる。 発: 既習事項を活用し、考える授業の展開をする。
理科	興味、関心はあり授業に対してとても積極的ではあるが、理解を深めようとする意識は薄い。	補・発: 補充的な課題を定期的に出し、問題慣れをすることで理解を深める。
音楽	意欲的、積極的である。 音を出す、やめる、発言する、考えるなどの切り替えが遅い。	具体的でシンプルな指示をさらに徹底する。 補・発: 吹奏楽は、今後進度に差が出てくるので、個別指導の実施を検討する。
美術	意欲的に授業に取り組む。個々の生徒の技術力に合わせた指導が必要である。	課題ごとに、わかりやすく、ていねいな説明と指導を心がける。 補: 生徒の進路に合わせ、じっくりと制作時間を確保する。 発: 作業が早く終わってしまう生徒には、技術を高める指導と追加課題を用意する。
保健体育	体力は平均程度だが投げるなどの巧緻性が低い。	全体的な体力の向上 補: 授業の導入や展開の中にコーディネーショントレーニングの要素を取り入れる。 発: 段階に応じた習熟度別に課題を設ける。
技術	授業や実習に意欲的に取り組んでいる。 知識の定着が課題である。	教科書やノートの活用を充実させる。 補: ノートをきちんとまとめさせ、提出を徹底させる。 発: ノートをまとめた生徒は教科書に記載されている発展的な内容を紹介する。
家庭	意欲的に学習に取り組む姿勢が見られる。 授業中の切り替え、知識の定着に課題が見られる。	活動の合間にワークシートの記入をさせ、切り替えをはっきりさせる。 補: 授業の中に活動を取り入れ、活動の中で理解を促す。 発: 自分の考えを発表する機会を設ける。
英語	意欲的ではあるが、話を聞くことが苦手であり、説明内容が一度で伝わらない。また、writingの定着もしていく必要がある。	話を聞くとときと活動するときのメリハリをつける。 補: プリントで繰り返し復習。 発: 小テストを行ったり、授業中での活動を増やす。